

科目名 (科目番号)	スポーツ医学(総論)	教員名 永井 智	学科等	理学療法	選択	履修年次	1
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			授業形態	講義	オフィスアワー	月3 A304研究室	
授業概要	2年次に開講するスポーツ医学（内科系）、スポーツ医学（外科系）の基礎となる科目として、アスレティックトレーナーが身につけるべきスポーツ医学に関わる基本的な知識について学習する。						
目的・目標	スポーツに伴う外傷・疾病の概要について理解すること、そして医師・理学療法士をはじめとした医療資格者との連携・コミュニケーションに必要となる基礎的素養を理解すること。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	スポーツに関する医学的知識	到達目標：健康における運動の必要性や意義について理解する。 学習内容：健康の定義やスポーツの効果、健康日本21について学習する。				
	2	スポーツに関する医学的知識	到達目標：アスリートの健康管理の手法について理解する。 学習内容：健康管理システムやメディカルチェックとそのデータの活用法について学習する。				
	3	スポーツに関する医学的知識	到達目標：アスリートの内科的障害と対策について理解する。 学習内容：急性の障害（突然死、熱中症、運動誘発アナフィラキシー等）について学習する。				
	4	スポーツに関する医学的知識	到達目標：アスリートの内科的障害と対策、スポーツ時にみられる症状、注意すべき病気について理解する。 学習内容：慢性的障害（貧血、オーバートレーニング症候群等）、運動誘発喘息、過換気症候群等について学習する。				
	5	スポーツに関する医学的知識	到達目標：スポーツにおける女性特有の問題を理解し、適切な対応が取れるようにする。 学習内容：月経の基礎知識、女性アスリートの三主徴、摂食障害や貧血について学習する。				
	6	スポーツに関する医学的知識	到達目標：スポーツに関連した精神的障害についての知識を習得し、適切な対応が取れるようにする。 学習内容：気分障害や食行動異常、睡眠障害等について学習する。				
	7	スポーツに関する医学的知識	到達目標：運動器の個々の特性を理解し、スポーツ外傷・障害の予防に役立てる。 学習内容：運動器のメディカルチェック（関節アライメント、関節弛緩性、筋腱拘縮、関節可動域、関節不安定）について学習する。				
	8	スポーツに関する医学的知識	到達目標：スポーツ外傷・障害の概念や発症要因を理解する。 学習内容：頭頸部・上肢・下肢・体幹の外傷・障害について学習する。				
	9	スポーツに関する医学的知識	到達目標：スポーツ現場で行われているコンディショニングの手法について理解する。 学習内容：ストレッチングやテーピングの目的と効果について学習する。				
	10	スポーツに関する医学的知識	到達目標：救急処置を要する状態において、慌てず適切な対応が取れるようにする。 学習内容：一次救命処置（心肺蘇生やAED使用の手順）について学習する。				
	11	スポーツに関する医学的知識	到達目標：スポーツ活動中に発生する外傷に対し、適切な対応が取れるようにする。 学習内容：RICEや創傷の手当てと応急処置の方法について学習する。				
	12	スポーツと栄養	到達目標：スポーツにおける栄養の役割と栄養素について理解する。 学習内容：5大栄養素の役割と特徴について学習する。				
	13	スポーツと栄養	到達目標：スポーツにおける栄養の役割と栄養素について理解する。 学習内容：アスリートの食事摂取の考え方や注意点について学習する。				
	14	アンチ・ドーピング	到達目標：アンチ・ドーピング活動の目標や規定について理解する。 学習内容：ドーピングの定義、アンチ・ドーピングの歴史や規定について学習する。				
15	アンチ・ドーピング	到達目標：アンチ・ドーピングにおけるスポーツ指導者の役割について理解する。 学習内容：ドーピング検査とTUE、スポーツ指導者の役割について学習する。					
成績評価の方法・基準	筆記試験（100％）※対面・オンライン共通						
教科書	リファレンスブック					公益財団法人 日本スポーツ協会	
参考図書							
教員からのメッセージ	(公財)日本スポーツ協会アスレティックトレーナー(JSPO-AT)の資格取得に必須の科目であり、授業内容はかなり専門的内容となります。授業内容を理解するためにも予習・復習が大切です。 この授業は公認スポーツ指導者養成講習会共通科目になります。 JSPO-ATとして登録・認定後5年を経過している教員がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。						